



### 毒魚藤

### 栽培法

毒魚藤の根部含有(ロテノン)等主要成分、是爲製造多種農藥殺蟲劑的原料、在近現代醫藥、毛織品工業等方面的應用很大、所以成爲現代極良好植物性殺蟲劑的一種、這是本省一項很值得栽培的作物。

魚藤是適宜栽培在高原、多雨、氣溫變化少、雨量分佈均勻的地區、在臺灣幾乎各地都可以種植、特別在南部和東部較爲適合、花運因爲雨量分佈均勻的關係、是最爲適宜的地區。



魚藤宜栽培在地勢平坦和排水良好、土質輕鬆的沙質壤土、最忌酸性濕潤的土壤、以及表土淺的瘦地和傾斜度大的土地。

**種苗** 臺灣普通栽培的魚藤品種有蔓生(遠トバ)、中生(中トバ)、直生(立トバ)三種。

含量最多、生長強健、適宜大面積栽培。中生品種、莖葉較短粗、根屬深根性、根的收穫量較蔓生多、但是ロテノン含量和樹勢都比「蔓生」種爲差。

。直生種、莖直立、屬深根性、雖然樹性強健、產量亦較前兩種多、但ロテノン含量極低、所以栽培最少。

#### 苗用種穗

種穗須選擇一年生以上的強健優良母株莖的木質化部分、每穗長度以一五至二〇公分、附有三芽爲宜、但是通常僅留二芽、在離芽以下二至三分處把牠斜剪、又健強的種穗、只要留上一芽就够。

#### 育苗

普通用種法繁殖、插穗應在春天舉行。插穗選取以後、在苗圃中以一二至一五公分距離、六〇度傾斜扦插在畦床上的橫溝內(畦床寬約二公尺、每隔三〇公分開一深約一〇至一五公分的橫溝)。每隔一二至一五公分插一株、用土被覆、使上端一芽露出地面。每公畝可插四千五百至五千支、普通活著率八成左右、要栽培一公頃、應該準備種穗二萬三千至三萬支。及苗圃五公畝、就可育苗一萬八千支至二萬四千支。苗圃中的灌溉、除草、施肥可視需要的情形而行。

#### 整地

定植前應充分深耕。雜草和石礫都要除去、土壤也要打碎、沒有旱害或排水不良的土地、就應作畦。畦的普通高度爲三〇公分、幅九〇公分。乾燥地不要作畦、可以開穴插植、以減少水分蒸發。

#### 肥料

苗圃期普通不要施用肥料、但在本圃期、因爲生長時間較長、就要大量施用堆肥及綠肥等遲效性有機肥料爲基肥。在整地時均勻撒佈地上、然後整入土中。于栽植初期、很需要施用氮素肥料。在定植後七八個月前一定要施用完畢(因魚藤生長初期、牠的根部沒有固定空氣中游離氮的能力)。據試驗結果：施用充分的肥料、不但魚藤根的產量增多、而細根的數量反而減少、且根的有效成分的含量也增加。



增加。通常施用追肥時期、以生出土莖一至二枝、和莖長約一公尺許爲宜。在本圃的施肥量、每公頃大約施用堆肥五千公斤、硫酸銨四百公斤、過磷酸石灰五百公斤、硫酸鉀一百公斤。

#### 栽植

苗莖長達三〇公分時可移植、若是根或葉過長、應適加剪定。春植爲二—三月秋植爲十一月、定植距離普通寬爲九十公分、株間爲四十五至六十公分、如有枯損株、就要補植、每公頃約植一萬八千至二萬四千株。

#### 管理

定植後應行灌水。水利不便的地方、可在地面敷蓋藁類、稻殼等、可減少地面水分的蒸發、在幼苗沒有充分伸長時、應行的中耕除草三次。至枝條繁茂時、易生不定根、須行三次翻蔓。

#### 收穫

收穫時期最好在幼苗定植後二十四個月夏季高溫時行之、那麼根的產量多、有效成分也高。每公頃根的收穫量約一千五百至二千公斤。

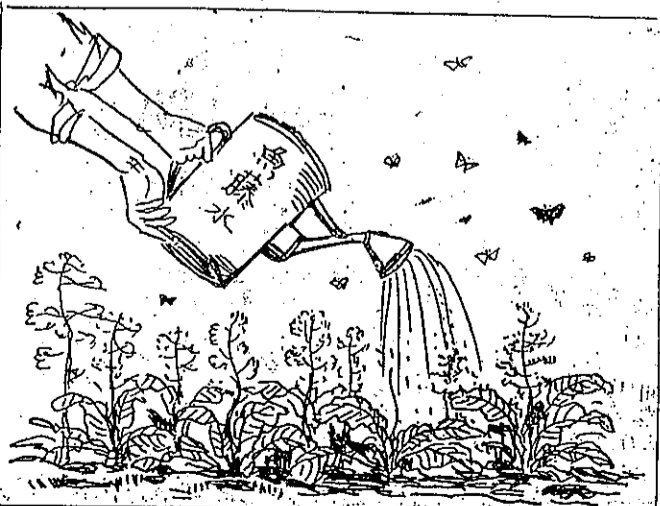
### デリス根簡單使用法

#### 魚藤液

昔から本島では山野に野生するものを採取して使用する習慣がある。野生のものには種類が多いが、葉が丸形で肉厚いものが毒成分多く、葉が細長く薄いものは不良とされ、幼根の黄色いのは優良で赤色のは不良であるとされてゐる。野生魚藤はロテノン含量少く商品としては價值少いが、島内の蔬菜栽培者の一部に使用されてゐる。その調合方法は魚藤生根四百グラム(乾根なら二百

#### 調製

掘取の根、應除去附着的泥沙。乾燥的方法、分爲晒乾和陰乾兩種、乾燥的程度、以撥根用手搓後、會脫落爲止。普通一〇〇公斤的鮮根、可得四十五公斤的乾根。經乾燥後分別根的大小分級包裝。每包重約五〇公斤和一〇〇公斤兩種。普通分爲三級、大根(直徑在七耗以上)、中根(直徑在一・五—七・〇耗)、細根(直徑在一・五耗以下)。乾根的貯藏應擇在低溫乾燥的地方。在貯藏期中、如果發生有蟲害或菌徵、應取出曝曬四、五天就行。(陳美楠)



四十グラム)を打碎き(乾根なら一夜水に漬けた後)、水二〇立の中での毒液を充分採み出し、後粗布で濾過してから噴霧器で撒布する。蝶蛾の幼蟲類、食葉甲蟲の幼蟲および成蟲、蚜蟲類、浮塵子類、蓟馬類等の害虫驅除用に使用されてゐる。市販のデリス根も同じ方法で利用出来るが市販のは毒成分が高いから根を少くするか水を多くして適宜に濃度を調節する必要がある。

**デリス石鹼液**：栽培されて市販されてゐるものを普通デリスと云つて毒成分は高い。デリス石鹼液は普通接觸劑として使用され、又毒劑として効果がある。上述の害虫の外特に棉浮塵子、蔬菜のサルハムシ及瓜守の幼蟲等に効果が大きい。調合量はデリス乾根四〇—一〇〇グラム、石鹼(洗濯用)八〇—一〇〇グラムを使つて水二〇立に溶かすのである。調製法は先づ石鹼を削つて少量の水で煮溶かす。それから一夜水に浸けたデリス根を打碎いて十立位の水の中に揉み出し粗布で濾過する。最後にこの濾過液に石鹼液を加へ、水を追加して二十立にし、充分に攪拌した上、噴霧器で撒布する。